

## 基本目標2 緑豊かな自然を保全し、 多様な生物が共生できる“まち”をつくる

本市は、周囲を山々に囲まれ、猪苗代湖や阿賀川とそれを支える河川が流れ、豊かな田園地帯が広がる等、社会・経済を支える森・里・川・湖に恵まれた地域です。また、これらの豊かな環境には、多くの野生生物が生息しており、多様な生態系を形成しています。

しかし、近年は農業・林業の担い手不足による農地や山林の放置や、外来生物の増加による生態系への影響等によって、自然環境や生態系への影響が懸念されています。

自然環境の悪化は本市のみならず世界的な課題とされており、国際社会においては、生物多様性の損失を食い止め、回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ（自然再興）」が世界的な使命とされています。

本市独自の文化と融合した豊かな自然や多様な生態系を守り、次世代に引き継ぐために、市民、行政、事業者が一体となり、野生生物の生息環境の保全や緑化の推進、湖沼や河川の美化等の取組を推進し、人と多様な生物が共生できる“まち”をつくります。

取組2-1 生物多様性を保全します

取組2-2 多様な生物が共生できる自然環境を保全します

取組2-3 猪苗代湖の水環境を保全します（猪苗代湖水環境保全推進計画）

### 環境目標 令和6年度実績



個別 目標	環境目標	目標値と実績値				R 9に向けた 目標達成率
		現状値	実績値	目標値		
		R 4	R 6	中間R 9	目標 R12	
2－1	野生生物保全事業への参加人数	70 人	230 人	70 人	100 人	328.6%
	「生き物マップ」登録件数	0 件	10 件	400 件	700 件	2.5%
	市街地における鳥害の発生件数	15 件	18 件	5 件	3 件	27.8%
	環境保全型農業直接支払事業の取組面積	9,829a	9,477a	10,724a	13,493a	88.4%
	自然環境や動植物の保護を行う市民の割合	10.5% (H30)	—	60%	60%	—
2－2	緑化・自然交流事業への参加人数	3,025 人	3,334 人	8,020 人	8,020 人	41.6%
	森林施業面積	2,126ha	2,154ha	2,417ha	2,417ha	89.1%
	多面的機能支払事業の対象農用地面積	4,481ha	4,284ha	5,000ha	5,000ha	85.7%

個別 目標	環境目標			目標値と実績値				R 9に向けた 目標達成率	
				現状値	実績値	目標値			
						R 4	R 6		中間R 9
2－2	全農地における遊休農地の割合			0.45%	0.57%	0.42%	0.42%	73.7%	
2－3	猪苗代湖及び 流入河川の水質	中田浜	COD	1.3mg/ℓ	1.4mg/ℓ	0.7mg/ℓ	0.7mg/ℓ	50.0%	
			全窒素	0.22mg/ℓ	0.16mg/ℓ	0.2mg/ℓ	0.2mg/ℓ	125.0%	
			全リン	0.005mg/ℓ	0.006mg/ℓ	0.01mg/ℓ	0.01mg/ℓ	166.7%	
		赤井川	BOD	1.1mg/ℓ	1.6mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.1mg/ℓ	68.8%	
			全窒素	1.17mg/ℓ	1.52mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.1mg/ℓ	72.4%	
			全リン	0.121mg/ℓ	0.138mg/ℓ	0.08mg/ℓ	0.08mg/ℓ	58.0%	
		原川	BOD	0.5mg/ℓ	0.9mg/ℓ	0.5mg/ℓ	0.5mg/ℓ	55.6%	
			全窒素	0.45mg/ℓ	0.58mg/ℓ	0.4mg/ℓ	0.4mg/ℓ	69.0%	
			全リン	0.024mg/ℓ	0.054mg/ℓ	0.02mg/ℓ	0.02mg/ℓ	37.0%	
		農業集落施設水洗化率			赤井:98.8% 共和:95.0%	赤井:99.4% 共和:95.6%	赤井:99.6% 共和:94.7%	赤井:99.9% 共和:95.0%	99.8% 101.0%
		高度処理型浄化槽の普及率 (湊地区)			35.9%	27.7%	40.6%	42.4%	68.2%
		猪苗代湖・流域清掃活動参加者数			未実施	383人	530人	500人	72.3%

環境施策 令和6年度取組実績

取組 2-1 生物多様性を保全します

◇野生生物や生態系を保全します

実施事項 〔担当所属〕	R 6 年度事業計画の内容	R 6 年度事業実績	R 6 年度事業評価
野生生物生息環境保全事業 〔環境共生課（環境 G）〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野生生物生息環境調査を行い、生息環境の保全に努める。</li> <li>・身近な生き物基本調査会議を開催し、意見を野生生物の保護に役立てる。</li> <li>・ホームページや市政だよりに生き物についてのコラムや情報を掲載し、市民の野生生物保護についての意識啓発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野生生物生息環境調査を行った。</li> <li>・身近な生き物基本調査会議を開催し、市の環境保全事業や市内での開発行為に対する意見を得た。</li> <li>・ホームページへの情報を掲載したほか、市政だよりにより毎月コラムを掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野生生物生息環境調査を実施し、身近な生き物基本調査会議を開催し、市の環境保全事業や開発行為に対する意見を得た。ホームページへの情報を掲載し、市政だよりにより毎月コラムを掲載していたが、野生生物に関する市民の関心は高まりつつある。</li> </ul>

◇生態系へのリスク対策に取り組みます

実施事項 〔担当所属〕	R 6 年度事業計画の内容	R 6 年度事業実績	R 6 年度事業評価
市街地の鳥害対策事業〔環境共生課（環境 G）〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地におけるカラスやムクドリ等による鳥害対策に市民協働で努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラスやムクドリの相談件数は合計で 18 件であった。追い払い機材を用意し、苦情者の相談に対応し、町内会と協働で追い払いを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 18 件（内訳）</li> <li>カラス 8 件</li> <li>ムクドリ 10 件</li> <li>・機材貸出件数 2 件（内訳）</li> <li>レーザーポインタ 1 件</li> <li>高圧洗浄機 1 件</li> <li>・追い払い対応 3 回（町内会と合同で実施）</li> <li>神指町、駅前町、大町</li> <li>・ホライト使用 1 回 駅前町</li> </ul>



## 取組2-2 多様な生物が共生できる自然環境を保全します

## ◇森林・里山・農地を保全します

実施事項 〔担当所属〕	R6年度事業計画の内容	R6年度事業実績	R6年度事業評価
文化財整備事業 (高瀬の大木 (ケヤキ)、 石部桜)〔文 化スポーツ 課〕	・高瀬の大木保存整備(施肥、支柱交換、枯枝切除等)を実施する。	・保存整備(11月～3月、支柱補修、枯枝処理、施肥、木道修繕)を実施した。	・保全治療によって、高瀬の大木の樹勢をおおむね維持することができた。
環境保全に効果の高い営農活動の支援 〔農政課〕	・国の交付金制度(環境保全型農業直接支払)を活用し、活動組織における環境保全に効果の高い有機農業等への支援を通じて、生物多様性の保全、地球温暖化の防止等を図る。	・環境保全に効果の高い営農活動を行う活動組織に対して交付金を交付し、地球温暖化の防止や生物多様性保全に資するための取組の推進を図った。	・環境保全に効果の高い営農活動を行う活動組織に対して交付金を交付し、地球温暖化の防止や生物多様性保全に資するための取組の推進を図ることができた。
福島県自然公園清掃協議会への加入〔観光課〕	・自然公園内の美化清掃事業及びその思想の啓蒙・普及活動を行う。	・地元団体と連携し清掃業務委託を実施するとともに、利用者へ環境美化に関する啓発を行った。	・清掃回数延べ36人 湊四浜における利用者数 25,356人
営農活動等の推進による農山村環境の保全〔農政課〕	・国の交付金制度(中山間地域等直接支払、多面的機能直接支払)を活用し、集落における営農活動・農業施設の維持活動等への支援を通じて、農業・農地の持つ多面的機能を維持し、生物多様性の保全を図る。	・活動組織に対し、交付金を交付し、農業・農地の持つ多面的機能を維持し、生物多様性の保全を図った。	・活動組織に対し、交付金を交付し、農業・農地の持つ多面的機能を維持し、生物多様性の保全を図った。
水路工事〔農林課〕	・野生生物の生息環境に配慮しながら、農村地域の環境改善を図る。	・野生生物の生息環境に配慮しながら、設計及び工事を行い農村地域の環境改善を図った。	・野生生物の生息環境に配慮しながら、設計及び工事を行い農村地域の環境改善を図った。
森林整備地域活動交付金事業〔農林課〕	・森林整備地域活動支援事業により、森林経営計画の策定に向けて、林業事業体が行う森林所有者の合意形成等を支援する。	・0件(交付金を要望する事業体がなかった)	・過去、交付金の交付を受け、森林経営計画が策定されたケースがあることから、一定程度寄与している。
治山事業〔農林課〕	・自然災害等による森林の復旧を図る。 ・保安林整備事業等により保安林の整備と、荒廃森林の復旧を図る。	・大戸町大字芦牧峠地区の復旧に向け、県において工事を発注した。	・平成26年度に県において門田町大字御山字山寺地区の復旧を完了し、令和2年度から大戸町大字芦ノ牧字峠地区の復旧工事を実施している。

実施事項 〔担当所属〕	R 6 年度事業計画の内容	R 6 年度事業実績	R 6 年度事業評価
林業専用道整備事業〔農林課〕	・林業専用道舟子峠線を開設し、森林施業に供することで森林整備を図る。	・令和5年度から繰越した工事が完了した。 施工延長 154.2 m 令和6年度の工事については、積雪等による天候不良の影響のため、令和7年度へ繰越した。 施工延長 626.8 m	・令和元年度からの林業専用道の整備により、令和2年度に当該道路を活用しての森林施業（間伐）が実施され、森林整備に寄与した。
森林病虫害等防除事業〔農林課〕	・湊町ほか保全すべき森林における松くい虫等の被害を鎮静化させるため、伐倒や薬剤注入等により駆除を行う。	・伐倒駆除 14 本 ・材積 16.4m <sup>3</sup>	・本事業を実施したことにより、本市の木、アカマツが対象であるため、森林資源の保護、確保ができた。また、観光資源である松林の風致及び景観の保全につながった。
国土緑化推進事業〔農林課〕	・森林資源の造成と国土保全並びに水資源のかん養を図り、以って国土緑化に寄与することを目的とし、各団体への補助等を通じて目的達成のための事業を行う。	・各事業参加人数のべ120人 （エコカル子どもクラブ 児童86人） （グリーンスクール 34名）	・児童のみならず、その保護者あるいは一般市民も含めて緑化意識の醸成が図られている。
国土緑化推進委員会事業（植樹祭・公共施設等緑化事業）〔農林課〕	・植樹を通して市民の方々に緑化の重要性を認識していただき、併せて緑化思想の高揚と市民生活環境の向上に寄与する目的で植樹祭を実施する。 ・公共施設、自然緑地、公園等を緑化する団体等へ緑化苗木や花苗を無償配布する。	・第73回植樹祭実施参加者81名 ・公共施設等緑化推進事業の実施 7団体へ苗木、花苗配布	・児童、企業、各種団体、各町内会の参加が継続していることから緑化思想の高揚が図られている。
保安林の整備〔農林課〕	・国土防災、自然環境の維持から森林の有する多面的機能の高度発揮を目的に積極的に保安林の指定・整備を図る。	・市で直接整備は行っていないが、県事業に対する協力・支援を行った。	・県事業に対する協力・支援を行い、復旧事業等に伴う保安林の指定や、整備等を行った。
基盤整備事業〔農林課〕	・計画的な基盤整備事業の実施により、農地の整備に併せて自然環境を保全する。	・新規の県営基盤整備地区（本田地区）において、野生生物の生息環境に配慮した実施設計を行った。	・基盤整備地区において、野生生物の生息環境に配慮しながら、農村地域の環境改善を図っている。
森林浴〔農林課〕	・遊歩道の定期的な巡回・点検に併せて適切な維持管理を継続して行い、森林浴を開催する。	・森林浴参加者 18 名	・遊歩道の定期的な巡回・点検に併せて適切な維持管理を継続して行い、森林浴を開催した。
森林環境基金 森林整備事業〔農林課〕	・県森林環境税を財源とした基金により、スギ等の人工林の間伐事業を実施する。	・なし	・荒廃した人工林の整備に寄与した。

実施事項 〔担当所属〕	R 6 年度事業計画の内容	R 6 年度事業実績	R 6 年度事業評価
森林環境整備 (交付金) 事業〔農林課〕	・森林を全ての県民(市民)で守り育てる意識の醸成と森林環境の保全を行うための事業を実施する。	・一箕町金堀地区及び大戸町南原地区においてウルシ樹育成の業務委託を実施。 ・一箕町金堀地区において、ウルシ樹の育成管理ボランティア作業を実施(参加人数 17 人) ・事業要望のあった、こども園において、県産木材を活用した製品を導入(1 件)	・一箕町金堀地区及び大戸町南原地区においてウルシ樹の育成管理を進める事が出来た。 ・市民の方々にウルシ樹ボランティアに参加いただくことにより、会津古来の森林であるウルシ林、漆器文化への理解を深めていただいた。 ・県産木材を活用した製品の導入により、木の魅力や、森林環境についての意識醸成を図れた。
自然景観指定 緑地の指定 〔都市計画課〕	・自然資源の発掘を行い拡充を図る。	・追加指定緑地 0 件 (既指定 35 件) ・追加登録緑地 0 件 (既登録 65 件) ・維持管理費等助成 9 件	・指定・登録緑地の件数に変化はなかったが、既指定緑地に対する維持管理費等の助成を行なったことで本市における貴重な自然資源の保全に対する管理者等の理解が進んだ。
遊休農地の解消〔農業委員会〕	・農地の利用状況調査(令和 6 年 8 月頃)及びその結果をもとにした利用意向調査(令和 6 年 11 月頃)を実施することにより、遊休農地の把握と解消を図る。	・令和 6 年度においては、令和 6 年 8 月に実施した農地利用状況調査により新たに 13.5ha の遊休農地を確認したが、農業委員等による解消指導や地権者の努力等により 3.3ha を解消したものの、結果として、本市における遊休農地面積は 26.9ha (令和 6 年度当初) から 37.1ha に増加した。	・遊休農地の再生利用に対する働きかけや、借り手農家のあっせんなどの取組を進めたものの、農業従事者の減少や高齢化が進み、総農用地面積に対する遊休農地面積の割合が前年比 0.16% (10.2ha) 増加した。
公共施設での 緑化〔上水道施設課〕	・浄水場内での緑化を図る。	・滝沢浄水場と東山浄水場において、場内の除草及び花苗の管理を実施した。	・滝沢浄水場と東山浄水場において、場内の除草及び花苗の管理を実施し、環境を維持した。
みどりの食料 システム戦略 〔農政課〕	・「持続可能な食料システムのまち」の構築に向けた協議会を設立し、有機農業の推進を通じて、環境負荷低減に取り組む。	・有機農業推進の中心となる「会津若松市オーガニック推進協議会」を設立。11 月 2 日・3 日に開催された地産地消まつりに協議会として参加し、有機農業について広く来場者に PR した。	・令和 6 年度に会津若松市オーガニック推進協議会を設立したこと、今後、本協議会を中心としてさらなる有機農業の推進が期待できる。



実施事項 〔担当所属〕	R 6 年度事業計画の内容	R 6 年度事業実績	R 6 年度事業評価
ふれあい体育館等の緑化 〔文化スポーツ課〕	・今後も各施設の緑化を図るため、市民・施設利用者・指定管理者の協働による「花と緑のサポーター活動」を継続して実施する。	・市民・施設利用者・指定管理者の協働による「花と緑のサポーター活動」として花壇の整備・苗の定植などを7回実施した。	・指定管理者の自主事業「花と緑のサポーター活動」が継続して行われるようになり、市民・施設利用者・指定管理者が協働して緑化に努めたことで、各施設内の環境整備が充実した。
下水浄化工場の緑化〔下水道施設課〕	・豊かな緑を創出するため、下水浄化工場の植栽や玄関付近をプランターに下水汚泥肥料を使用し、緑化を進める。	・下水浄化工場の植栽や玄関付近のプランターに下水汚泥肥料を使用し、緑化を進めた。	・下水浄化工場の植栽や玄関付近のプランターに下水汚泥肥料を使用し、緑化を進め、下水処理施設のイメージアップにつながった。
庁舎の緑化 〔北会津支所 (まちづくり推進グループ)〕	・庁舎の花壇及びプランターに花苗を植栽し、庁舎の緑化に努める。	・庁舎の花壇及びプランターに花苗を植栽し、庁舎の緑化に努めた。	・毎年度、庁舎の花壇等に花苗の植栽を行ったことにより、緑化の推進が図られた。
庁舎の緑化 〔河東支所 (まちづくり推進グループ)〕	・庁舎敷地内の樹木の剪定施肥や花の管理(多年草の剪定施肥・一年草の植栽等)を実施する。 これまで燃やせるごみとして搬出していた剪定枝や雑草を堆肥として還元し、利用していく。 また、雑草対策として流木チップの散布や、刈り取った雑草や落葉等を樹木の根周りに利用していく。	・庁舎敷地内の樹木の剪定施肥や花の管理(多年草の剪定施肥・一年草の植栽等、春・秋)に実施した。 これまで燃やせるごみとして搬出していた剪定枝や雑草を堆肥として還元した。 また、雑草対策として、刈り取った雑草や落葉等を樹木の根周りに敷き詰めた。	・庁舎敷地内の景観が良くなり、年間を通じて来庁者の方が庁舎敷地の花木や緑を感じられるような貢献ができた。
公共施設での緑化〔市民課〕	・斎場敷地内の緑化の維持管理を行う。	・斎場敷地内の緑化の維持管理を実施した。	・毎年、花苗の植栽及び業務委託により樹木の手入れや草刈り等の維持管理を実施した。
ノーマライズ交流館の緑化 〔障がい者支援課〕	・敷地内の草刈りや樹木の剪定のほか、まちづくり整備課から支給された花苗を植栽し、施設の緑化を図る。	・敷地内の草刈りや樹木の剪定を行ったほか、花壇やプランターに花苗を植栽し、施設の緑化維持を図った。	・施設敷地内の植栽を手入れすることで適切な緑化環境を維持することができた。



実施事項 〔担当所属〕	R 6 年度事業計画の内容	R 6 年度事業実績	R 6 年度事業評価
児童館や保育所施設の緑化〔こども保育課〕	(児童館) ・利用児童による花苗栽植 (広田保育所) ・年長児によるグリーンカーテン栽培活動 ・2歳以上児クラスの栽培活動・花苗栽植 (中央保育所) ・年長児によるひまわり栽培と観察 ・3歳以上児による栽培活動 ・花壇などの緑化に努める	(児童館) ・利用児童による花苗栽植(200本)を実施 (広田保育所) ・職員や児童によるグリーンカーテンの栽培、花苗の植栽。 (中央保育所) ・ひまわりや野菜(ピーマン・トマト・さつまいも・ジャガイモ・ごま)の栽培活動の実施。 ・320本の花苗植栽で施設の緑化維持を図った。	(児童館) ・花壇などの花苗栽培を通し、児童の自然への関心を育てたり、地域住民の憩いに繋げることができた。 (広田保育所) ・栽培活動を通し、児童の環境や自然への興味関心を高めることができた。 (中央保育所) ・栽培活動を通して、身近な植物や野菜への児童の興味関心を高めることができた。 ・育てた野菜を実際に調理して食べることで、食育活動に展開することができた。
市場の緑化〔農政課〕	・指定管理者において、市場内花壇への花苗の植付及び空地の草刈りを実施する。	・市場内花壇への花苗の植付及び空地の草刈りを指定管理者である(一社)会津若松市公設地方卸売市場協会によって実施した。	・指定管理者による花苗の植付及び草刈り等により、緑地を適切に保全することが出来た。
景観まちづくり協定地区等における緑化等の支援〔都市計画課〕	・景観まちづくり協定同意者からの求めに応じて緑化等の支援を行う。	・公開空地の緑化等に対する助成0件(利用申請がなかったため)	・協定地区等の緑化に対する地区住民等の理解が必要となっている。
花と緑の推進事業〔まちづくり整備課〕	・花苗生産基地において、花苗を生産する。 ・庁舎、学校等の公共施設に花苗を配布し緑化美化を図る。	・花苗生産基地において、73,400本花苗を生産し、97箇所の庁舎・学校等の公共施設に花苗を配付し緑化美化を図った。	・庁舎、学校等の公共施設に花苗を配布したことにより、地域の緑化美化を推進した。
国際的ふるさと会津創生事業〔まちづくり整備課〕	・町内会等との連携により公園、緑地の維持管理を実施する。	・町内会等との連携により公園・緑地の維持管理を実施した。	・町内会と連携することで、公園及び緑地等における日頃の状況(例えば危険な案件の報告等)を常に把握する事が出来た。
都市公園緑地等整備・維持管理事業〔まちづくり整備課〕	・都市の環境及び安全性の向上を図り、市民の活動や憩いの場を形成するため、良好な維持管理に努めるとともに、必要に応じ施設整備を行う。	・公園内の樹木管理や施設改修・維持補修等を実施し、市民の憩いの場として利用できるよう環境整備を図った。	・公園内の樹木管理や施設改修・維持補修等を実施したことにより、安全、安心して過ごせる市民の憩いの場を提供した。
公営住宅の緑化〔建築住宅課〕	・城前団地第6期の整備において、野芝及びドウダンツツジの植込みを整備する設計で工事に着手する予定。	・城前団地第6期の整備において、野芝及びドウダンツツジの植込みを整備する設計で工事を発注した。	・公営住宅の緑化については、建替工区ごとに緑化を推進しており、住環境の向上を図っていく。



◇水辺の環境を保全します

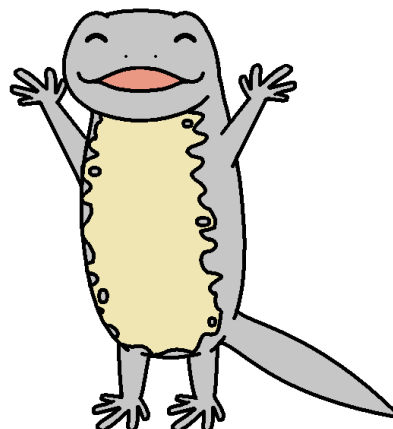
実施事項 〔担当所属〕	R 6 年度事業計画の内容	R 6 年度事業実績	R 6 年度事業評価
赤井谷地保存整備事業〔文化スポーツ課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境調査及び植生調査により谷地の現況を把握し、指導会議において保全策等の検討を行う。</li> <li>・観察会を実施し、谷地保護について市民への啓発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境調査（5月～11月）、植生調査（10月）を実施した。</li> <li>・指導会議（11月）を開催し、保存整備等について検討した。</li> <li>・参会者を市内外で募集し、観察会（8月、36名）を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境調査及び植生調査により谷地の現況を把握することにより、指導会議で谷地保全策の検討を行うことができた。</li> <li>・観察会を実施し、谷地保護について市民への啓発を行うことができた。</li> </ul>
文化財整備事業 （白山沼のイトヨ）〔文化スポーツ課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家によるイトヨ生息調査及び生息現地指導を行い、イトヨの周辺環境保全や浚渫要望の対応についての検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家によるイトヨ生息調査及び生息現地指導を行った。イトヨの周辺環境保全や浚渫要望の対応についての検討を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による調査結果から、イトヨの周辺環境保全や浚渫要望の対応についての検討を行うことができた。</li> </ul>
湊四浜観光整備事業〔観光課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湊四浜湖水浴場の安全管理と整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湊四浜湖水浴場の安全管理と整備を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湊四浜における利用者数 25,356人</li> <li>・湊四浜湖水浴場において、安全管理体制の構築および環境整備を行い、利用者が安心して自然環境とふれあえる空間の維持に努めた。</li> <li>・入込数は前年を上回り、湖水浴客に加えてキャンプやプレジャーボート等の利用も多く、一定の集客効果が見られた。</li> <li>・また、ネット上での評価も良好で、地域資源としての魅力発信にも寄与していると考えられる。</li> <li>・引き続き、利用マナーの啓発や自然環境の保全、安全対策の強化を図ることで、持続可能な水辺空間の維持を目指す。</li> </ul>
水源周辺の清掃〔上水道施設課〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源周辺の清掃及びパトロールを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東山ダム周辺や湯川上流のパトロールを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東山ダム周辺や湯川上流のパトロールを実施し、水源環境の把握に努めた。</li> </ul>

◇自然と触れ合う機会をつくります

実施事項 〔担当所属〕	R 6 年度事業計画の内容	R 6 年度事業実績	R 6 年度事業評価
自然環境教室 の開催〔環境 共生課（環境 G）〕	・市民を対象に自然環境教室を開催し、市民の自然環境保護、野生生物保護に関する意識の醸成を図る。	・自然環境教室の身近なムシたち（7月）、鶴ヶ城野鳥観察会（11月）を実施。2月のフィールドサイン観察会は大雪のため中止。各教室を通じて、子供たちを含めた市民の方々に、市全体の自然を環境を守る意識を啓発する。	・自然環境教室を開催し、市民の自然環境保護、野生生物保護に関する意識は高まりつつある。
グリーンツーリズム支援事業〔農政課〕	・ウェブサイトやパンフレット等を活用し、市内外への周知・広報に努め、誘客促進を図る。	・教育旅行ガイドブックやあいばせ、公式HP等でグリーンツーリズムについて広く周知したほか、地産地消まつりや日野市産業まつりに参加し、活動をPRした。	・令和6年度に農業体験を行った学校から令和7年度も体験の申し込みがあり、継続した受入へと繋がっている。
市民農園等設置運営事業〔農政課〕	・市民農園の貸し出しにより市民が実際に農作業を体験する機会を創出し、農業や自然環境、食に対する理解を深める。	・農作業の体験などを通して自然環境や農業への理解を深めた。 ・市民農園 67 区画 利用者 47 名	・市民農園の貸出・紹介を行うことにより、多くの市民に農作業を体験してもらうことができた。
「市民と共生の森の会」支援事業〔農林課〕	・森林資源の造成と国土保全並びに水資源のかん養を図り、以って国土緑化に寄与することを目的とし、森林エコカルこどもクラブ事業を行う。	・森林エコ・カルこどもクラブ 全6回開催のべ児童86名、保護者48名参加	・参加している保護者からは「森林に親しむ児童向けのイベントが少ない中、素晴らしいイベントを開催していただいている。ありがたい」と評価をいただいている。

きれいな空！  
きれいな山！  
きれいな水！

みんなで守っていくモリン！



## 取組2-3 猪苗代湖の水環境を保全します(猪苗代湖水環境保全推進計画)

### ◇湖水や周辺河川の水質汚濁を防止します

実施事項 〔担当所属〕	R6年度事業計画の内容	R6年度事業実績	R6年度事業評価
ビーチクリーナーによる湖岸清掃〔環境共生課(環境G)〕	・猪苗代湖水環境保全推進連絡会により、猪苗代湖湖岸の環境美化を図るため、砂浜の清掃を実施する。	・猪苗代湖水環境保全推進連絡会において、崎川浜・中田浜・小石ヶ浜の清掃を行った。(延べ3回)	・猪苗代湖水環境保全推進連絡会で、崎川浜・中田浜・小石ヶ浜の清掃を行い、きれいになってきている。
猪苗代湖水環境保全推進事業〔環境共生課(環境G)〕	・本市の水資源及び観光資源として重要な猪苗代湖の水環境の保全に向け、福島県及び関係市町村並びに関係機関・団体と連携しながら、水環境保全対策を進める。	・猪苗代湖岸クリーンアップ作戦は、5回実施され参加した。 ・県や猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催の湖岸清掃やヨシ刈り、ヒシ刈りのボランティアについて参加を呼びかけるとともに、主催本部に参加した。	・猪苗代湖岸クリーンアップに参加し、県や猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催の湖岸清掃やヨシ刈り、ヒシ刈りのボランティアの参加を呼びかけ、主催本部に参加し、猪苗代湖の浜はきれいになってきている。
猪苗代湖流入河川水質調査事業〔環境共生課(環境G)〕	・継続して主要河川及び猪苗代湖流域での水質調査を実施し、水環境の現状を確認するとともに、調査結果の公表を行う。	・計画通り年間10回の水質調査を実施した。結果については概ね基準を満たしていた。 ・令和5年度の調査結果について公表を行った。	・計画通り水質調査を実施し、結果については概ね基準を満たしていた。

### ◇周辺環境の美化・整備に取り組みます

実施事項 〔担当所属〕	R6年度事業計画の内容	R6年度事業実績	R6年度事業評価
猪苗代湖周辺の環境美化の取組〔環境共生課(環境G)〕	・猪苗代湖湖岸の環境美化を図るため、砂浜の一斉清掃を実施する。	・湊町環境美化及び湊町観光協会合同で一斉清掃を実施した。	・猪苗代湖湖岸の環境美化を図るため、各団体から参加して一斉清掃を実施した。
クリーンアップ作戦〔道路課〕	河川愛護意識の向上を目的として、令和6年7月7日に市内河川沿い及び猪苗代湖畔のゴミ拾いを実施する。	・各町内会においてゴミ、空き缶・空き瓶拾い、市内河川及び猪苗代湖畔の清掃活動を実施した。 参加人数：1,005人	・清掃活動を通して、町内会や関係団体と交流し、市民の河川愛護意識向上に寄与することができた。



◇猪苗代湖について知る・学ぶ機会をつくります

実施事項 〔担当所属〕	R 6 年度事業計画の内容	R 6 年度事業実績	R 6 年度事業評価
猪苗代湖の水環境講座の実施〔環境共生課（環境G）〕	・猪苗代湖の自然の浄化作用等の学習により、猪苗代湖の水環境保全に対する意識の向上を目的とする。	・湊学園で2回の出前講座を開催した。	・猪苗代湖の自然の浄化作用等の学習により、猪苗代湖の水環境に対する意識は向上されつつある。
シンポジウム、セミナー等の開催〔環境共生課（環境G）〕	・猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群流域の水環境保全に係る情報の共有、意識の高揚を図り、流域における水環境保全活動を推進する。	・猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催の水環境フォーラムに参加し、猪苗代湖環境保全推進連絡会主催の子ども交流会（会津若松市開催）で各小学校の活動報告をまとめた。	・猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催の水環境フォーラム参加や猪苗代湖環境保全推進連絡会主催の子ども交流会を開催することにより、水環境保全に関する意識や行動が高まりつつある。

みんなで守ろう！生物多様性

「生物多様性」とは、陸、空、海、河川、森林など、地球全体に多様な生物が存在していることを指します。

地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種もの多種多様な生きものが生まれました。これらの生きもの一つひとつに生命と個性があり、わたしたち人類も含め、全ての生きものが直接的又は間接的に支えあって生きています。

わたしたち人類は、わたしたちのいのちと暮らしを支えてくれるこの豊かな生物多様性を守り、次世代につなげていかなければなりません。



地球は鳥や魚や昆虫、草木、花、そして僕たち動物たちなど、全てがつながって成り立っているモリンね。



## 特集 「野生生物生息環境保全事業」

(担当課：環境共生課)

本市は背あぶり山や猪苗代湖などの豊かな自然に恵まれており、たくさんの生き物たちが生息する豊かな生態系が築かれています。

市では、豊かな自然を将来に引き継いでいくためには、生き物を知り、その環境を守ることが大切であると考え、以下の事業を実施しています。

### 1 野生生物生息環境調査

市内の野生生物の生息環境の変化について、市内25地点を調査しています。今まで実施した調査では、特に大きな変化は見られませんでした。

### 2 自然環境教室

自然観察を通じて身近な自然の大切さについて理解していただくために、年3回自然環境教室を開催しています。(開催内容については、「各種環境教室・環境講座・生涯学習出前講座の実施」(105～106ページ)を参照。)

### 3 ホームページ等での啓発

身近に生息している生き物について知る機会を増やすために、平成17年度より、ホームページ上に「身近な生き物大図鑑」を掲載し、市内に生息する生き物約600種類を紹介しています。

また、平成27年度からは生き物についてのコラムを掲載し、季節の生き物の特徴や生態について解説しているほか、市が毎月発行している「市政だより」にも身近な生き物を紹介する記事を掲載しています。



身近な生き物大図鑑  
市ホームページのトップページ

北海道や本州、四国に分布し、市内では東山地区と大戸地区で見ることができます

**「ダケカンバ」**

ダケカンバはブナ目カバノキ科に属する落葉広葉樹の高木で、高さは10mを超えますが、森林限界付近では低木状になります。樹皮は灰褐色から淡褐色で、表面は白っぽく、紙状に薄く剥がれると褐色が濃くなります。葉は5cmから10cmの三角状の卵形で、先端が尖り、葉の縁は不揃いなギザギザになっています。葉は枝の1つの節に互い違いに付き、秋にはきれいな黄色に染まります。

花は5月から6月ごろに咲き、雌雄同株で雄花は黄褐色、雌花は緑色です。明るい場所に生え、成長が早く、森林が何らかの理由で破壊された後に真っ先に生える木です。

**私のまちでみつけた！**

市内に生息する動植物を紹介します。  
●問い合わせ…環境共生課 ☎23-4700

市政だよりの身近な生き物紹介



#### 4 身近な生き物基本調査会議の開催

生き物の各分野における専門的な知識を有する方々(身近な生き物基本調査会議委員)により構成される会議であり、本市の身近な生き物の生息状況や生態情報、市の啓発事業等、生き物に関することについて、専門的な立場からご意見をいただいています。



##### 【身近な生き物とは…】

市内で確認された哺乳類、鳥類、は虫類、両生類、魚類、昆虫類、植物の中から、「会津若松市身近な生き物基本調査会議」で、下記の2つの基準で約600種の生き物が選定されています。

- (1) 市内での生息が確認されている生き物
- (2) 市民が比較的容易に見ることができ、わかりやすい生き物。  
または季節感の指標となる生き物(ウグイスやアブラゼミなど)など  
市民の生活につながるのがある生き物。



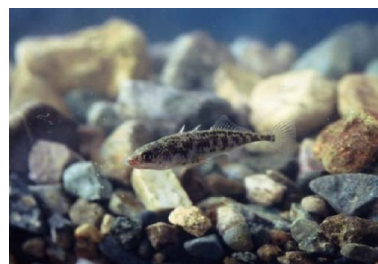
ニホンリス



ミヤマクワガタ



アカハライモリ



イトヨ

## 特集 「猪苗代湖環境保全推進事業」

(担当課：環境共生課)

### 1 猪苗代湖岸一斉クリーンアップ作戦

- 実施期間：令和6年8月4日
- 実施箇所：崎川浜
- 内 容：住民参加で実施

### 2 猪苗代湖環境保全推進連絡会の取組

#### ①ビーチクリーナーによる湖岸清掃

- 実施期間：令和6年4月～令和6年11月
- 実施箇所：猪苗代湖の各浜
- 実施日数：延べ25日



ビーチクリーナーによる湖岸清掃

#### ②ヨシ屑や流木等湖岸堆積物の除去

- 実施期間：令和6年8月～11月
- 実施箇所：松橋浜、志田浜、天神浜、白鳥浜

#### ③子ども交流会

- 開催日：令和6年11月15日（金）
- 場 所：会津若松市生涯学習総合センター
- 内 容：郡山市立湖南小中学校、猪苗代町立第二小学校、会津若松市立湊学園の児童による猪苗代湖の環境保全に関する活動事例報告

#### ④ラムサール条約湿地への登録推進

- 内 容：令和7年7月の登録に向け、ラムサール条約湿地情報票を作成。

### 3 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会の取組み

#### ①猪苗代湖クリーンアクション

- 開催日：令和6年6月22日
- 場 所：猪苗代湖舟津浜、舟津公園
- 参加者：521名
- 内 容：ヨシくず、ごみの回収

#### ②猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラム

- 開催日：令和6年12月7日
- 場 所：ホテルリステル猪苗代
- 参加者：106名
- 内 容：猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト表彰式、事例発表



#### 4 紺碧の猪苗代湖復活プロジェクト会議の取組

##### ○ヒシ回収

■実施時期：令和6年7月～9月

■実施場所：猪苗代湖北岸部

■回収量：7,830kg

#### 5 NPO法人「輝く猪苗代湖をつくる県民会議」の取組

##### ○漂着水草回収

■実施期間：令和6年10月

■参加者：1,334人（延べ人数）

■回収量：165m<sup>3</sup>

## 6 猪苗代湖流入河川等水質調査

本市では、猪苗代湖及び流入河川の水質を把握するため、昭和59年度から水質調査を実施しています。赤井川、原川、猪苗代湖（中田浜）の3地点について毎月1回（1、2月は除く）実施しています。

猪苗代湖（中田浜）の水質は、他の河川や湖沼と比べ大変良好な水質であるといえますが、平成になる頃からpHが上昇して中性化しており、CODと総リンも上昇する傾向にあります。

猪苗代湖の流入河川である赤井川と原川の水質は良好で安定していますが、水田の代掻きや田植えの影響と考えられる水質の悪化が一時期発生します。

（参考資料：122ページ 資料9）

市では今後も継続して水質調査を実施し、猪苗代湖の水質保全に努めていきます。

### ～ ひとくちメモ ～

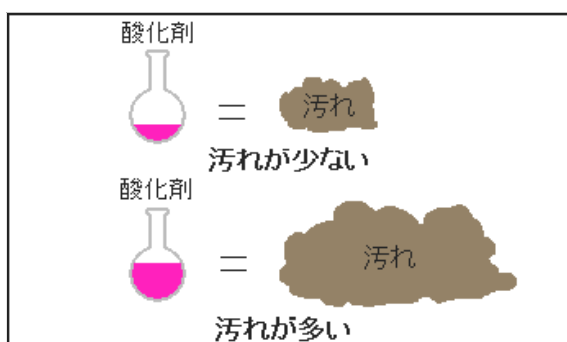
#### ■BOD（生物化学的酸素要求量）

河川等の有機物による汚れを表す指標で、水中の有機物の微生物が分解（酸化）する際に消費する酸素の量を測定することで、間接的に水の汚れを測定することができます。数値が大きいほど汚れが大きいことを示します。

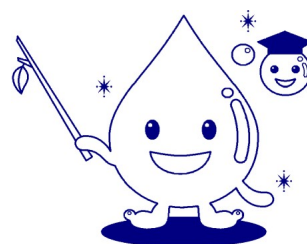


#### ■COD（化学的酸素要求量）

主に有機物による水の汚れを示す指標で、有機物を酸化分解するのに使われた酸素の量に換算したもので、数値が大きいほど水が汚れていることを示します。

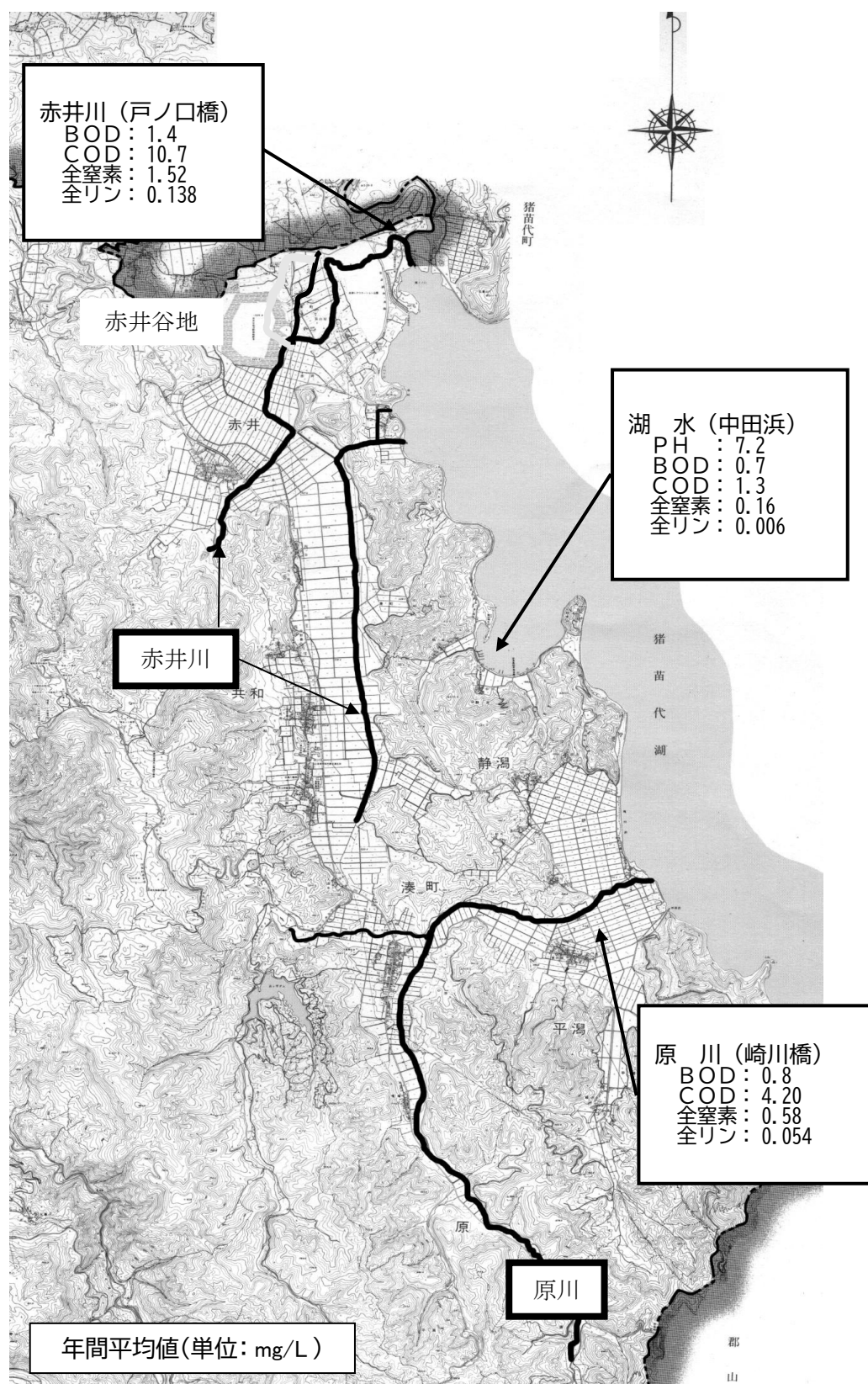


河川の場合はBOD、湖沼や海域の場合はCODを用いて水質を評価します



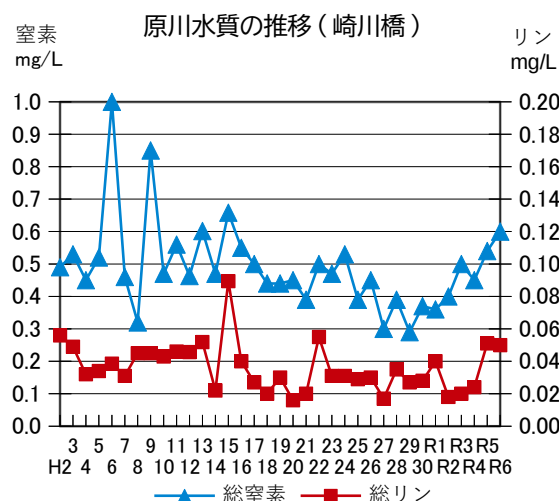
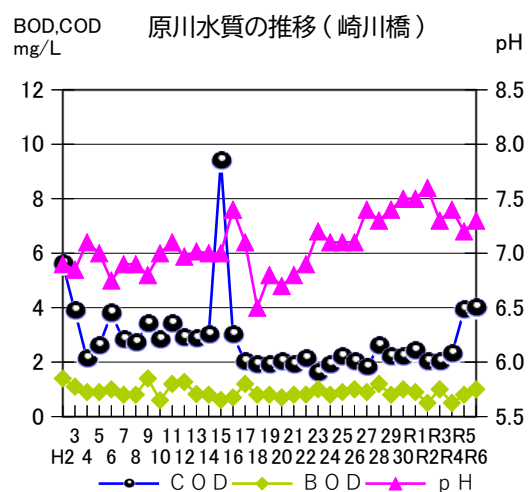
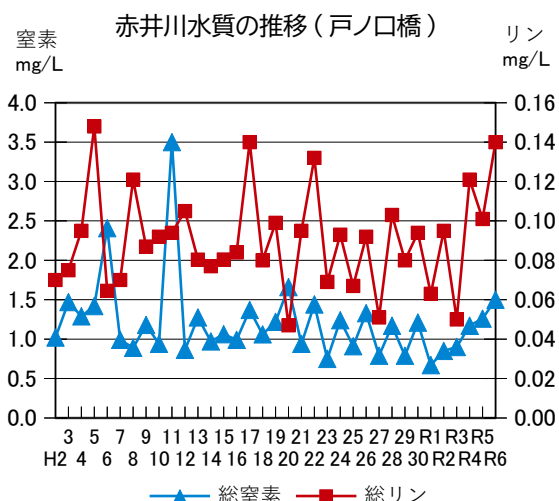
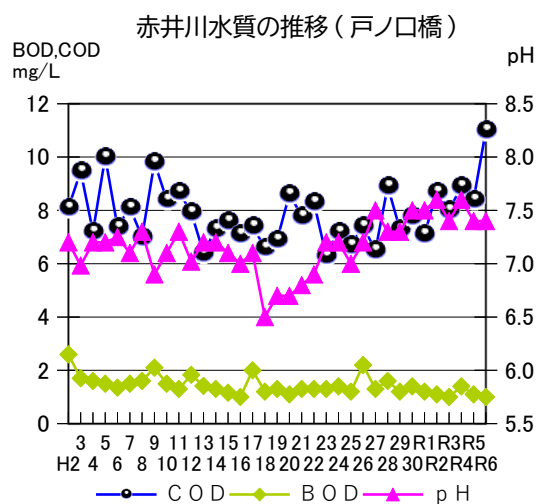
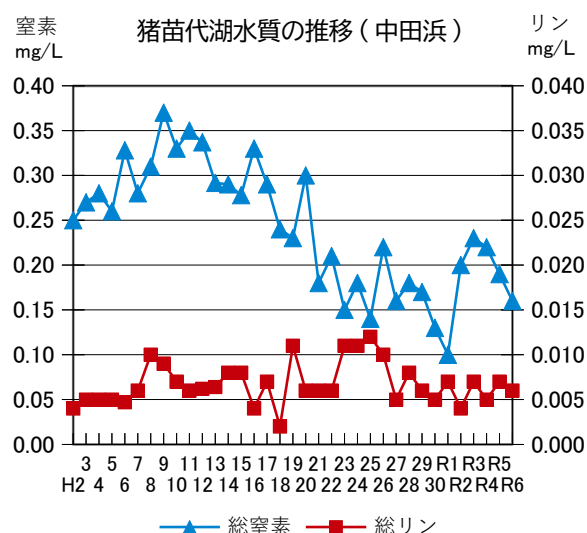
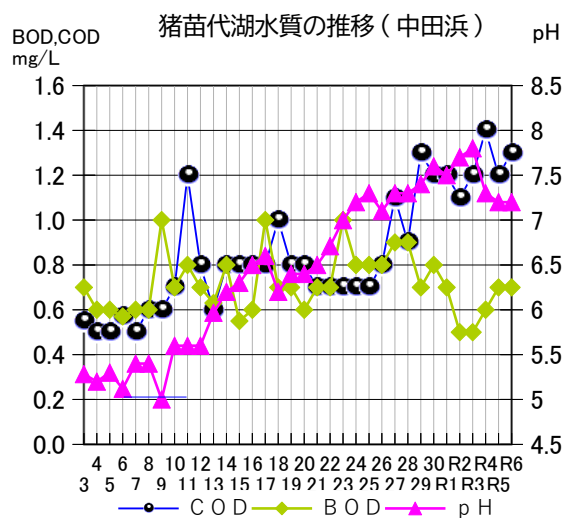
市水環境キャラクター  
みずくん・たまちゃん

◆令和6年度 猪苗代湖流入河川等水質調査結果



(参考資料 : 122 ページ 資料9)

# ◆猪苗代湖および流入河川の水質経年変化(年間平均値)

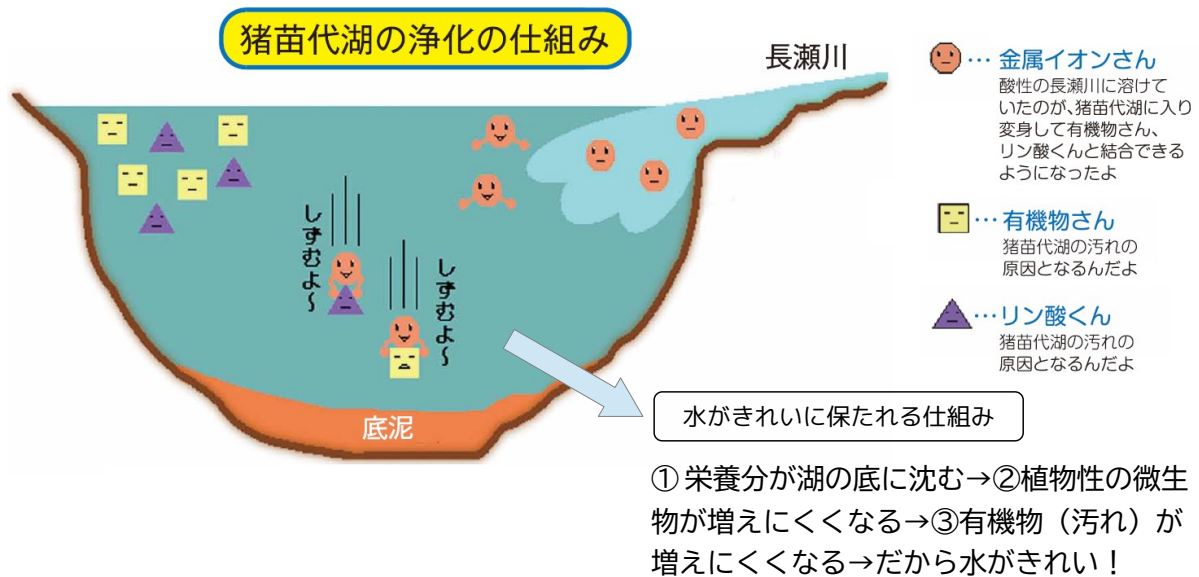


## 7 猪苗代湖の現状

### (1) 自然の浄化作用

猪苗代湖には、猪苗代町の北部から流れる酸川（すかわ）が長瀬川と合流して流れ込んでいますが、酸川の水は強酸性で、鉄やアルミニウム等の金属イオンが溶け込んでいます。

猪苗代湖に入ると、それまで溶けていた金属イオンが形を変えて、有機物（汚れ）やリン酸（植物の栄養）と結びつき、湖の底に沈みます。この自然の浄化作用により、猪苗代湖の水質が良好に保たれていると考えられています（下図参照）。



#### 【酸川の特徴】

長瀬川の支流の一つで、かつての硫黄鉱山からの地下水や、沼尻・中ノ沢温泉の源泉の影響で強酸性（ $\text{pH} 2$ ）を示す河川です。見た目は透明で川原の石もきれいですが、強酸性のため鉄やアルミニウムなど様々な金属イオンを含んでいます。



酸川

#### 【長瀬川の特徴】

裏磐梯から猪苗代湖に流入している河川です。猪苗代湖に流入する水の約40%が長瀬川から入っています。途中で酸川と合流し、酸性成分を湖に運んでいます。合流直後は、中和により酸性度が下がり（ $\text{pH} 3 \sim 4$ ）、鉄イオンが固体化するため、川原の石に鉄分が付着し茶色に染まっています。



長瀬川

#### 参考

##### 【福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例】

福島県では、水環境悪化を未然に防止し、将来に渡って良好な水環境を保全していくため、平成14年3月に「福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例」を制定しました。

条例では、県民、事業者、行政の責務や富栄養化を防止するための窒素・リンの排出規制など、水質汚濁防止のための各種規制等が盛り込まれています。

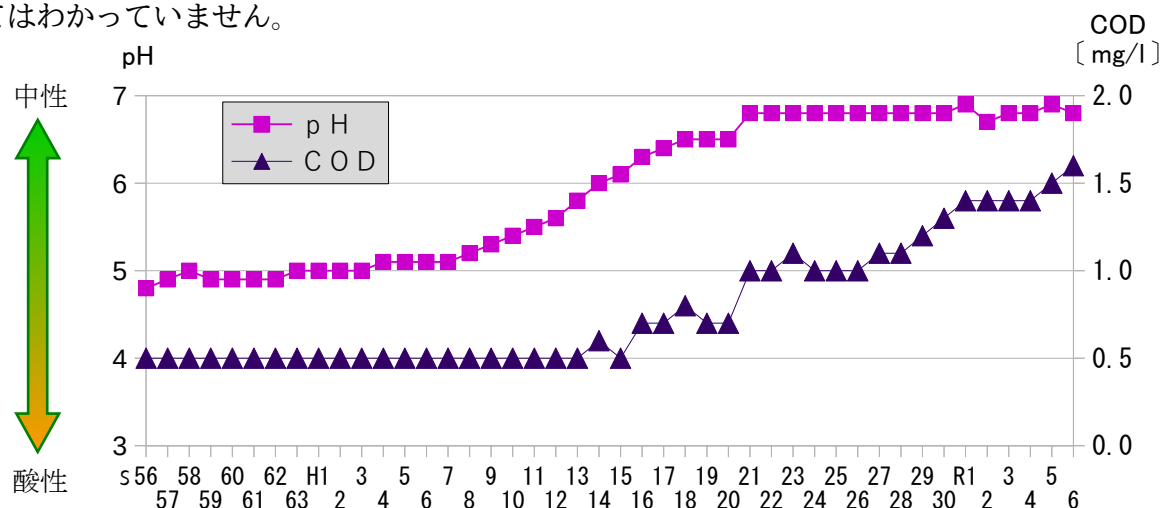
排出規制値は、霞ヶ浦など富栄養湖に対する基準値と同等の厳しいものになっています。



## (2) pHの中性化

pH 5 前後の弱酸性を保ってきた猪苗代湖ですが、平成8年頃からpHが上昇しはじめ、平成18年度以降はpH 6.5以上となり、令和6年度はpH 6.8であったことから、ほぼ中性になっています。

猪苗代湖が中性化した原因は様々考えられ、その一つとして、酸川（猪苗代湖に流入する長瀬川の支流）に含まれている酸の量が減ったことが考えられていますが、詳細についてはわかっていません。



### ■猪苗代湖心の水質変化（CODの上昇）

猪苗代湖の中性化に伴い、湖水の汚れを現す指標であるCODの値も上昇傾向にあります。これは、猪苗代湖の自然の浄化作用の低下や湖内における生産（プランクトン等の水生生物の繁殖）の増大などが考えられます。水質が悪化することが懸念されるため、県や流域市町村等では水質改善に向けて様々な取組を行ってきました。市では、今後とも継続的に水質改善に取り組んでいきます。

#### 【水質改善の取組例】

猪苗代湖上流域での下水道や高度処理合併浄化槽の普及促進

猪苗代湖岸の清掃や漂着水草・ヒシのボランティアによる回収

水環境にやさしい農業の推進 など

## (3) 全国湖沼水質ランキング（ベスト5）について

猪苗代湖は、環境省発表の公共用水域水質測定結果による湖沼の水質ランキング（ベスト5※平成28年度以前はCOD値、大腸菌群数などによりランク付け。平成29年度以降はCOD値のみによりランク付け。）において、平成14年から17年の4年間は1位でしたが、その後、平成20年度以外はCOD値の増加や大腸菌群数の環境基準超過によりベスト5外となっています。近年のCOD値のみによるランキングは以下のとおりです。

令和2年度 14位、令和3年度 17位、令和4年度 15位、令和5年度 22位

## (4) 湖沼の環境基準について

国では当初、環境基準として大腸菌群数を採用していましたが、近年、大腸菌を検出する技術が進歩し、ふん便汚染によるものと、自然由来のものとを分けて検出することができるようになったため、令和4年4月から基準を大腸菌数に見直しました。なお、猪苗代湖で検出される大腸菌群については、ほとんどが自然由来であることが判明しています。